



# 大分県立美術館 OPAM に ピートメリア® が採用されました。

2015年4月24日開館に向け新築工事が進められていた大分県立美術館「OPAM」には建物の外観に合わせ、街路樹（ケヤキ）が植えされました。街路樹の植栽は、周りが歩道や道路のため、植え穴以外はしっかりと締め固められてしまいます。そのため、樹木の根は限られた範囲でしか根を張ることが出来ません。これらを解決するため、弊社のピートメリア®が採用されました。

## ピートメリア®が採用された理由

一般の土のみでは経年による沈み、人の立ち入りによる踏圧等により、締め固められ、根が酸欠状態になってしまいます。ピートメリア®は強い耐圧性と適度な空隙率を備えており、芝生の床土以外の用途にもこのようなニーズに対応することができます。

【撮影日】2015年1月29日

【所在地】大分県大分市寿町2番1号

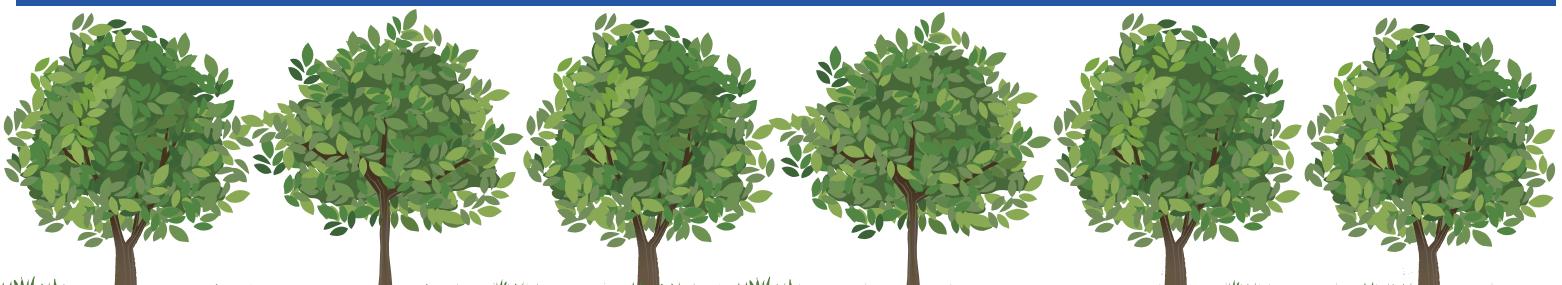
## NEWS TOPIC

### JGS-CC®クレイが東京都建設局 「新技術情報データベース」に登録されました!

【登録日】2015年3月17日

【登録番号】1401011

【副題】土舗装用土壤改良材



# 大分県立美術館 OPAM に ピートメリア® が採用されました。

2015年4月24日開館に向け新築工事が進められていた大分県立美術館「OPAM」には建物の外観に合わせ、街路樹（ケヤキ）が植えされました。街路樹の植栽は、周りが歩道や道路のため、植え穴以外はしっかりと締め固められてしまいます。そのため、樹木の根は限られた範囲でしか根を張ることが出来ません。これらを解決するため、弊社のピートメリア®が採用されました。

## ピートメリア®が採用された理由

一般の土のみでは経年による沈み、人の立ち入りによる踏圧等により、締め固められ、根が酸欠状態になってしまいます。ピートメリア®は強い耐圧性と適度な空隙率を備えており、芝生の床土以外の用途にもこのようなニーズに対応することができます。

【撮影日】2015年1月29日

【所在地】大分県大分市寿町2番1号

# JGS ニュース

【発行元】(株)ジャパングリーンシステム  
代表取締役 蒲生幹雄  
2015年4月

21世紀緑化研究会 理事長

## 輿水理事長が選ぶ土壤の成功例

私たちが目指すべき未来

## 21世紀緑化研究会としての今後の取り組み

様々な用途に対応できる多目的スペースへ  
2WAY利用を実現させた長崎県立総合運動公園

街路樹の植栽における問題点を解決  
大分県立美術館「OPAM」 街路樹にピートメリア®採用

桜花の候、貴社ますますご発展のこととお慶び申し上げます。この度、JGSNEWS春号が出来上がりましたのでお送りいたします。今後も新しい情報をお届けして参りますので、引き続きご愛顧承りますようお願い申し上げます。

## Interview

農学博士  
21世紀緑化研究会理事長  
(前 明治大学教授)

**輿水 肇 理事長**



(左)山本副社長 (右)輿水理事長 撮影日:2014年10月24日

### 1.輿水理事長が選ぶ、土壤の成功例

**山本**「**土壤が大事**」とのことですが、その模範となるような事例はございますか?」

**輿水理事長**「やはり土木が先行している道路造りにおいて、新東名高速道路の法面の緑化は、とても素晴らしいと思います。道路の法面は崩れないように固めていますが、景観を良くするために植物を植えるには、固くする地盤と、植物が生育する柔らかい地盤とのバランスが必要となります。技術者はそのバランスを保つことに非常に力を入れ、知恵を絞っています。是非、立ち寄る際には見て頂きたいです。」

**山本**「確かに、法面やインターの周りなどは緑地が広がっていますよね。弊社資材も東伊豆風力発電所の法面緑化工事に使用されており、今後も法面にも、緑化への期待が出来ますね。」

### 2.21世紀緑化研究会としての今後の取り組み

**山本**「色々なお話を聞かせて頂きまして、ありがとうございます。最後となりますが、輿水先生が理事長をされております、21世紀緑化研究会は今後、東京をはじめ、日本の緑化に向けて、どのような存在を目指していくのか、そのお考えを最後に是非、お聞かせください。」

**輿水理事長**「21世紀緑化研究会は出来たばかりで、本当に小さな団体ですが、『より良い環境づくりをする』その思いは強く持っています。これからは、今ある公園や校庭の芝生をどのように育て、維持していくのかを皆で考えていくために、利用者、専門家、行政の三者が一体となる仕組みが必要です。緑を育てていく、より良い環境づくりするために、私たちはその三者の架け橋となるのです。」



撮影日:2014年10月24日

## 長崎県立総合運動公園内グラウンドを2WAY利用

土壤を改良することで、  
さまざまな用途に対応できる多目的スペースへ

1年を通じ時節ごとに利用用途が変化する公園の場合、その用途ごとに求められる土の性質が違います。2つの性質を兼ね備えた土壤、その一例として長崎県立総合運動公園のグラウンドに使用された、ピートメリア®をご紹介します。

### ① 耐圧地盤(車等の重さに耐えうる強い耐圧性)

長崎県立総合運動公園 臨時駐車場 ※参考写真



撮影日:2014年10月19日

長崎県では、既存の多目的グラウンドを「駐車場としても利用が出来る多目的スペース」へ改修する構想が挙がっていました。しかし、このグラウンドの大部分は天然芝であり、駐車場利用という過酷な状況で元気な芝を育成していくには、通常の土壤では難しく、以下二つの条件を同時に満たさなければなりません。

### ② 芝生基盤 (養分、水分等、芝生が問題なく育成できる環境が整っていること)

大分県臼杵市防災拠点施設多目的広場 ※参考写真



撮影日:2014年6月30日

この一見相反する条件の中、弊社のピートメリア®が採用されました!

### ピートメリア®が採用された理由とは

ピートメリア®は天然軽石を母材とし、有機質土壤改良材を加えた緑化基盤材です。母材である天然軽石により耐圧性に優れ、かつ空隙があるため透水性にも長けております。さらには有機質土壤改良材により芝生の育成に必要な水分・養分を保持しております。

ピートメリア®納品中の様子



撮影日:2014年12月24日

ピートメリア®を敷設後の芝張の様子



撮影日:2015年2月17日

通常の土では耐圧性がないため、締め固まると、芝の根が酸欠状態になり枯れてしまいますが、ピートメリア®を使用することでこの弱点を克服することができました。



撮影日:2015年3月30日

### JGS-CC®クレイも採用されています。

芝生以外の土舗装部分にはJGS-CC®クレイが採用されています。JGS-CC®クレイが採用されたのは、土と混合することで泥濘化を抑えられ、さらにはクッション性が増し、プレイヤーの足への負担を軽減する、適度な衝撃吸収性があるからです。

【所在地】長崎県諫早市宇都町27番1号

【施工年月】2015年2月

ピートメリア®

【面積】12,720平米

【納品数量】2,650立米

JGS-CC®クレイ

【面積】7,776平米

【納品数量】352立米